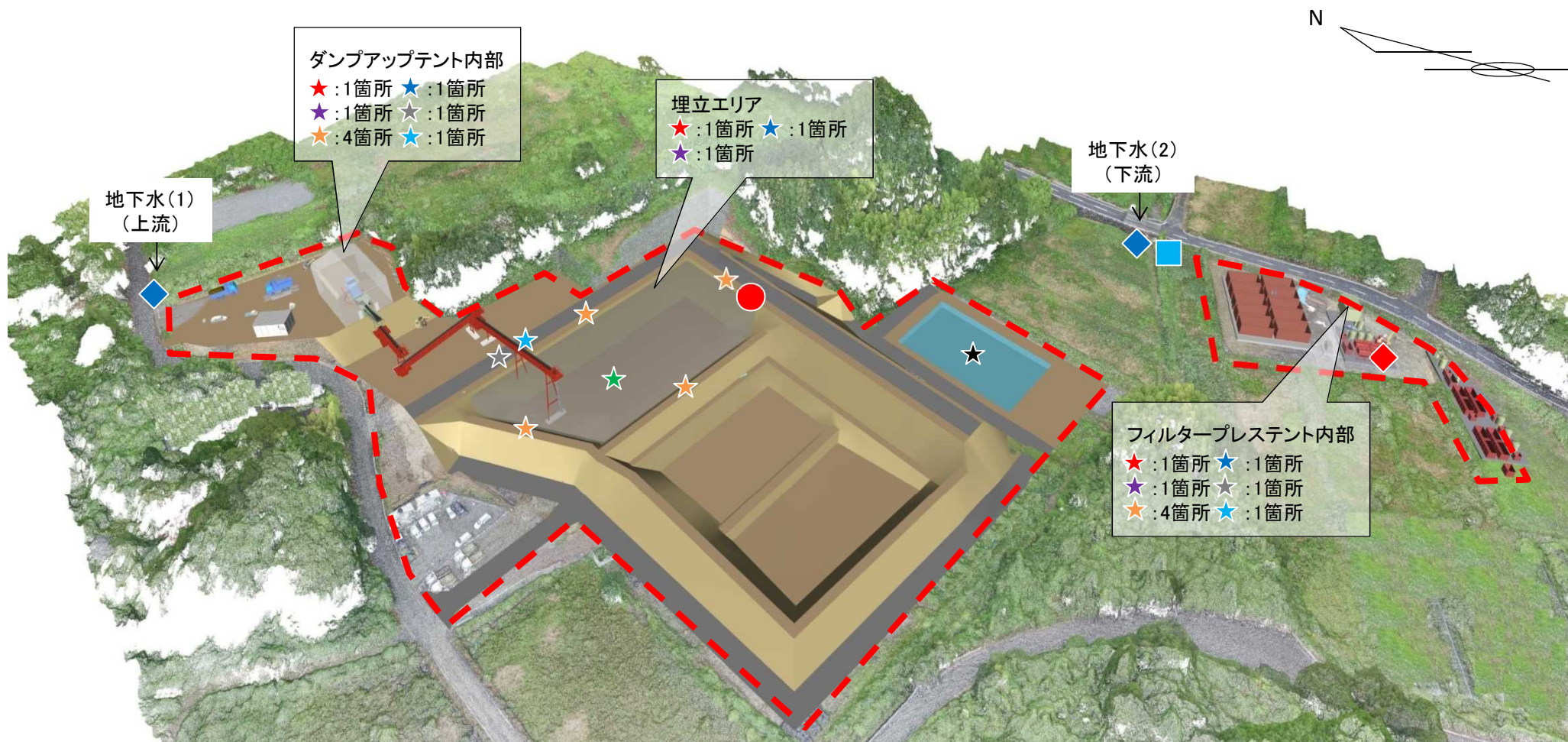


土壤貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例		
◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等	● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度	◆ : 処理水中の放射能濃度等
★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質	■ : 放流先河川の放射能濃度	★ : 粉じん濃度
★ : 空間線量率(作業環境)	☆ : 空気中の放射能濃度	★ : 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)
★ : 表面汚染密度(埋立施設境界・壁)	★ : 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)	★ : 表面汚染密度(重機)
--- : 敷地境界線		

土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年3月 ①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2018/3/1	(稼働後)	18	16
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2018/3/1	(稼働後)	19	8.4

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2017/12/7	(稼働前)	ND
2018/3/1	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

◆処理水中の水素イオン濃度等

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2018/3/1	7.4	4.4	5.3	ND

浮遊物質(SS)の報告下限値：1 mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度 (pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/3/15	1	7.1	7.9	0	0	ND	29
2018/3/16	4	7	7.2	0	0	ND	121
2018/3/20	4	7	7	0	0	ND	117
2018/3/21	3	7	7.1	0	0	ND	89
2018/3/23	4	7	7.1	0	1	ND	117

pH管理値：5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値：5以下であること。

放射性セシウム管理値：NDであること。

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質(SS) (mg/L)
測定日	
2018/3/1	3

報告下限値：1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2017/11/2 (稼働前)	ND
2018/3/13 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年3月 ②

★粉じん濃度

測定地点	2018/3/13 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.63
フィルタープレステント	0.07
埋立エリア	0.14

定量下限値：0.01mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/3/13 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.19
フィルタープレステント	0.17
埋立エリア中央	4.17

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/3/13 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
埋立エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

表面汚染密度(★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/3/20 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
埋立施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
埋立エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコンベア直下 管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.63 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年2月①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2017/11/23 (稼働前)	13	21
	2018/2/8 (稼働後)	18	16
下流	2017/11/23 (稼働前)	17	9.4
	2018/2/8 (稼働後)	19	7.8

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2018/2/1 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆処理水中の放射能濃度等

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 量(SS) (mg/L)
2018/2/1 (稼働後)		7.4	ND	3.0	ND

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/2/1 (稼働後)		ND
2018/2/8 (稼働後)		ND
2018/2/15 (稼働後)		ND
2018/2/22 (稼働後)		ND

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

放射能濃度のNDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度(pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/2/5	1	7.0	7.0	0.3	0.3	ND	43.0
2018/2/8	1	7.1	7.1	0.5	0.5	ND	26.0
2018/2/19	1	7.0	7.0	0.3	0.3	ND	36.0

pH管理値: 5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値: 5以下であること。

放射性セシウム管理値: NDであること。

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 量(SS) (mg/L)
2018/2/15		2

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND
2018/2/1 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年2月②

★粉じん濃度

測定地点	2018/2/9 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.01
フィルタープレステント	0.01
埋立エリア	0.01

定量下限値: 0.01mg/m³、管理濃度: 3.0mg/m³

★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/2/19 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.18
フィルタープレステント	0.17
埋立エリア中央	9.88

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/2/9 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
埋立エリア	ND

放射能濃度検出下限値: 5.0×10^{-7} Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度 (★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/2/12 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
埋立施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
埋立エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコンベア直下 管理用道路	ND

バックグラウンド約0.3Bq/cm²を差し引いた値 検出下限値: 0.63Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年1月①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2018/1/11	(稼働後)	17	18
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2018/1/11	(稼働後)	18	9.2

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2018/1/11	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆処理水中の放射能濃度等

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質量 (SS)
測定日	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2018/1/25 (稼働後)	7.7	0.9	2.8	ND

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2018/1/25 (稼働後)	ND

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

放射能濃度のNDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	水素イオン濃度(pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/1/24	1	6.9	6.9	2.8	2.8	ND	26.0
2018/1/25	1	7.0	7.0	0.1	0.1	ND	4.0
2018/1/26	2	7.0	7.0	0.1	0.1	ND	62.0
2018/1/29	1	7.0	7.0	0.1	0.1	ND	33.0

pH管理値: 5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値: 5以下であること。

放射性セシウム管理値: NDであること。

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

放流の実績がないため、測定結果は未記載。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND
2018/1/11	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年1月②

★粉じん濃度

測定地点	2018/1/15 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.06
フィルタープレステント	0.11
埋立エリア	0.02

定量下限値: 0.01mg/m³、管理濃度: 3.0mg/m³

★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/1/19 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.20
フィルタープレステント	0.19
埋立エリア中央	9.51

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/1/15 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
埋立エリア	ND

放射能濃度検出下限値: 5.0×10^{-5} Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度 (★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/1/18 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
埋立施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
埋立エリア	重機①	ND
	重機②	1.2
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコンベア直下 管理用道路	ND

バックグラウンド約0.3Bq/cm²を差し引いた値 検出下限値: 0.63Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2017年12月①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2017/11/23(稼働前)	13	21
	2017/12/21(稼働後)	17	15
下流	2017/11/23(稼働前)	17	9.4
	2017/12/21(稼働後)	19	7.1

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日 2017/12/7(稼働前)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆処理水中の放射能濃度等

排水の実績がないため、測定結果は未記載。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

排水の実績がないため、測定結果は未記載。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定項目	浮遊物質質量 (SS)
	(mg/L)
測定日 2017/12/21(稼働後)	ND

報告下限値: 1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日 2017/11/2(稼働前)	ND
2017/12/21(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2017年12月②

★粉じん濃度

測定地点	2017/12/22 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.25
フィルタープレステント	0.01
埋立エリア	0.01

定量下限値:0.01mg/m³、管理濃度:3.0mg/m³

★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2017/12/22 (稼働後)
	空間線量率 (μ Sv/h)
ダンプアップテント	0.25
フィルタープレステント	0.20
埋立エリア中央	1.64

★空気中の放射能濃度

測定地点	2017/12/22 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
埋立エリア	ND

放射能濃度検出下限値: 1.4×10^{-5} Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

表面汚染密度 (★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2017/12/18 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
埋立施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
埋立エリア	重機①	ND
	重機②	—
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコンベア直下 管理用道路	ND

バックグラウンド約0.3Bq/cm²を差し引いた値 検出下限値:0.63Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度:40Bq/cm²